



NO.131 2026年3月
連合群馬高崎地協
発行人 猪岡 真也
編集 広報部
〒370-0045 高崎市東町80-1
高崎市労使会館内
TEL 027-324-0555 / FAX 027-324-0677
E-mail: takasaki-chikyoo@rengo-gunma.gr.jp

祝 第39回高崎映画祭 高崎映画祭を愛する市民の皆様、そして次代を担う子どもたちへ。

★ NTT 東日本群馬支店プレゼンツ『みんなで一緒に映画の時間』(3.26 ~ 3.27) 高崎芸術劇場

1987年よりスタートした高崎映画祭。1年1年積み重ねて、今年で第39回目を迎えることになりました。高崎映画祭といえば『授賞式』が有名ですが、今回ご紹介するのは、春休みに家族連れで観る映画になります。

NTT 東日本群馬支店様のサポートにより実現した『みんなで一緒に映画の時間』は、「子どもたちに映画館という特別な空間で、未知の世界に触れてほしい」という純粋な願いから誕生しました。大きなスクリーンに映し出される物語は、想像力を刺激し、多様な価値観を育むかけがえのない「心の栄養」となります。

○ 多彩なラインナップが描く「世界」と「平和」

今回は、小さなお子さまから若者まで、世代を超えて楽しめる5つの作品が揃いました。

①『おおきなナラの木の物語』(3/27 上映)

フランスの森に息づく生命を圧倒的な映像美で描き、自然の尊さを肌で感じさせます。

②『ドゥーニャとアレppoのお姫様』(3/27 上映)

シリアからカナダへ旅する少女の物語を、温かなアニメーションで描き出します。

③『ヤマトタケル - 白鳥伝説 -』(3/27 上映)

2025年の最新作として注目される、壮大な日本神話の世界。

④『パビリュー - 楽園のゲルニカー』(3/26 上映)

戦争の悲劇と命の尊さを真正面から描き、平和を深く考えるきっかけを届けます。

⑤『家族のレシピ』(3/26 上映)

食を通じて家族の絆と歴史を紐解く、心温まる物語。

○ 「対話」で深まる、魔法の窓

本プログラム最大の特徴は、上映前後の「お話の時間」です。ただ観るだけでなく、映画の背景を知り、自分の感じたことを大切に。この対話のプロセスこそが、見知らぬ誰かの人生や遠い国の文化に触れる「魔



★第39回高崎映画祭ポスター

法の窓」をより大きく広げ、子どもたちの背中を優しく後押しします。

○ 街全体で育む文化の灯

高崎映画祭は、市民、企業、行政が手を取り合って創り上げてきた街の誇りです。映画を通じて親子で笑い、語り合い、時には共に涙する。そんな時間は、忙しい日常の中に「心のゆとり」を取り戻させてくれるはずです。映画との出会いが、子どもたちの未来を照らす小さな光となることを願っています。ぜひ、ご家族や友人と高崎芸術劇場へ足をお運びください。

★このプログラムは、全て上映前に約7分、上映後に約30分「映画を深めるお話の時間」があります。

①おおきなナラの木の物語

上映日時：3.27(金) 11:00～12:20

対象：小さなお子さまから



②ドゥーニャとアレッポのお姫様

上映日時：3/27(金) 13:30～14:43

対象：小学生くらいから／日本語吹替版上映



③ヤマトタケル - 白鳥伝説 -

上映日時：3/27(金) 16:00～17:13

対象：小学生くらいから



④ペリリュー - 楽園のゲルニカー

上映日時：3/26(木) 15:00～16:46

対象：小学校高学年くらいから



⑤家族のレシピ

上映日時：3/26(木) 18:00～19:29

対象：中学生くらいから



高崎映画祭は、オンラインチケット販売システム「シアターパス」で座席指定チケットを販売します。下記のQRコードよりお願いします。



現金の場合は、シネマテークたかさきで購入下さい。
当日の場合は、高崎芸術劇場で初回の上映の30分前から販売しています。